2027年3月期　第2四半期
決算説明会

ハリマ化成グループ株式会社

2026年11月16日
証券コード：4410

アジェンダ

1. ごあいさつ
2. 会社紹介
3. 業績概要
4. 業績見通し・株主還元
5. トピックス・新製品紹介

01 ご あ い さ つ

ごあいさつ

谷中　一朗（たになか　いちろう）

代表取締役社長 兼 社長執行役員 ＣＯＯ（最高執行責任者）
1968年 生まれ
兵庫県姫路市　出身

略歴

1993年4月　入社、研究開発部門に配属
2005年4月　中央研究所 開発室長
2008年6月　執行役員
2010年6月　取締役
2011年1月　経営企画室長
2014年6月　常務取締役　ローター社長　兼　CEO
2020年6月　専務取締役
2026年6月　代表取締役社長 兼 社長執行役員

02

会　社　紹　介

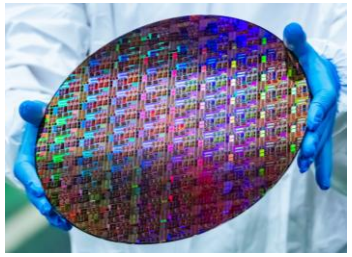
樹脂・化成品事業

塗料用樹脂



金属、プラスチック、コンクリート用の下塗り塗料、上塗り塗料などに利用される樹脂。
VOCを含まない環境対応製品も開発。

半導体レジスト用樹脂



半導体の微細な回路形成作る基幹材料「レジスト」の主原料。
高度な樹脂合成技術と、評価・解析技術が強み。

印刷インキ用樹脂



印刷インキの中の顔料を均一に分散する樹脂。
ロジンとフェノール樹脂を独自の合成技術で組み合わせた合成樹脂は、世界トップシェア。

粘接着剤用樹脂



接着剤や粘着テープの接着力を高めるロジン系樹脂。
タッキーファイヤーと呼ばれ、世界中のユーザーの要望に応える。

合成ゴム用乳化剤



合成ゴムの乳化重合に使う、ロジン系乳化剤。
自動車タイヤ向けを中心に、電線ケーブルや自動車部品の製造に使われる。

LAWTER™

ローター社（LAWTER）について
樹脂・化成品の製造販売を海外で展開しています。
別会社として管理しているため、「業績概要」では樹脂・化成品事業とは部門を分けてご説明しています。
　主な製品：粘接着剤用樹脂、印刷インキ用樹脂

製紙用薬品事業

紙力増強剤



古紙利用が増える中でも
紙の強度を高め、軽量化
や資源節約に貢献する
製紙用薬品。

サイズ剤



紙の吸水性を制御して
水性インクのにじみを
防止する薬品。
筆記性や印刷適性を
向上させる。

塗工剤・バリアコート剤



紙に撥水性や耐水性を
付与し、脱プラスチックにも
貢献する薬品。

工程改善薬剤・ピッチコントロール剤



製紙工程の操業安定化
やリサイクル効率向上を支
える薬品。

食品包装の紙に使用される薬品について
各国の安全基準に準拠しています。
　米国　FDA（Food and Drug Administration、米国食品医薬品局）
　ドイツ　BfR（ドイツ連邦リスク研究所）推奨基準
　中国　GB9685

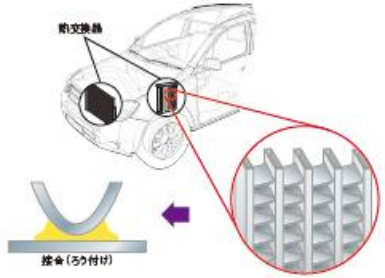
電子材料事業

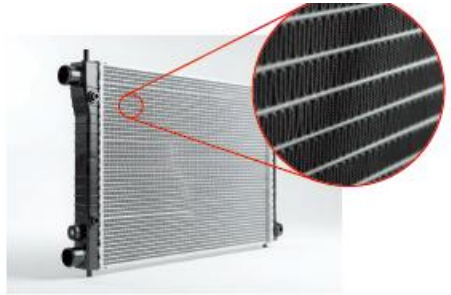
はんだ付け材料



電子部品を基板へ接合する
はんだ付け材料。
高密度実装を可能にし、
電子機器の小型化・高性能化
を支える。

アルミニウムろう付け材料





自動車やエアコンの熱交換器の製造に使われる
材料。熱交換器のアルミニウム部品同士を接合
するときに最小限の材料で済むため、コストダウン
と品質向上を実現。

プリント配線基板関連材料



プリント配線基板は、自動車や
家電製品に使われ、電子部品
を電気的に接続する板。
当社はプリント配線基板に
導電性を付与する銅ペーストを
販売。

03 業　績　概　要

決算ハイライト

2027年3月期　第２四半期　実績

▶ 売上高　604億円（過去最高を更新）

・4月発表予想比　+59億円
・前年同期比　+17.9%
・海外事業
　欧州・北米・南米のパインケミカル事業、北米・中国の製紙用薬品事業が好調
・国内事業
　塗料用樹脂を中心に販売数量が増加
　原材料価格の高騰による販売価格の見直し

▶ 営業利益　36億円（過去最高を更新）

・4月発表予想比　+22億円
・前年同期比　+122.3%
・売上高の増加
・製造コスト低減などの収益改善施策が寄与

決算ハイライト

2027年3月期　業績予想

▶ 売上高　1,250億円（過去最高）

・4月発表予想比　+150億円（+13.6%）の上方修正
・下半期は、上半期の業績動向が継続する見込み。

▶ 営業利益　58億円（過去最高）

・4月発表予想比　＋23億円（+65.7%）の上方修正
・下半期は、原材料価格の下落に伴う価格改定の影響や、塗料用樹脂における顧客の在庫調整を想定。

株主還元

▶ 配当金　8円増配（過去最高）

・4月発表予想比
　中間配当　+4円
　期末配当　+4円
　年間合計　+8円
・年間配当　１株当たり50円

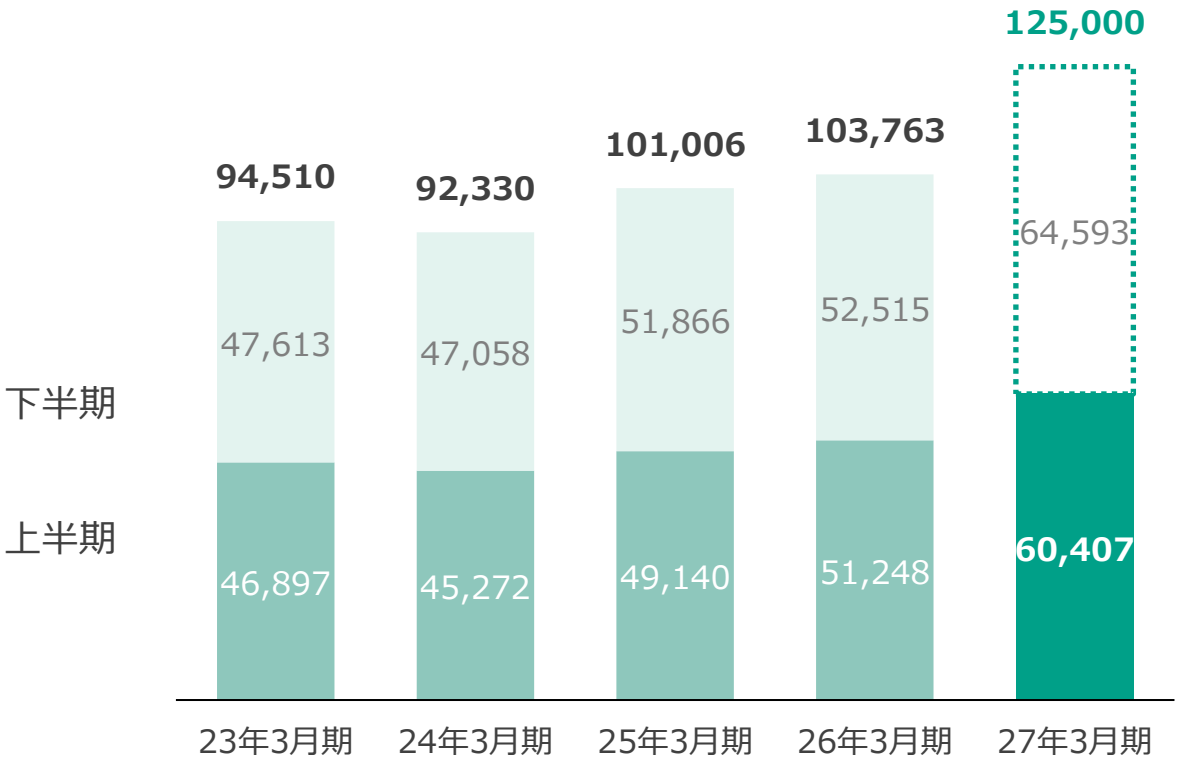
経営成績

単位：百万円

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	51,248	60,407	+9,159	+17.9%
営業利益	1,633	3,630	+1,997	+122.3%
経常利益	1,296	3,469	+2,172	+167.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	834	2,714	+1,880	+225.4%
1株当たり 当期純利益	円 銭 34.35	円 銭 111.55	円 銭 +77.20	–

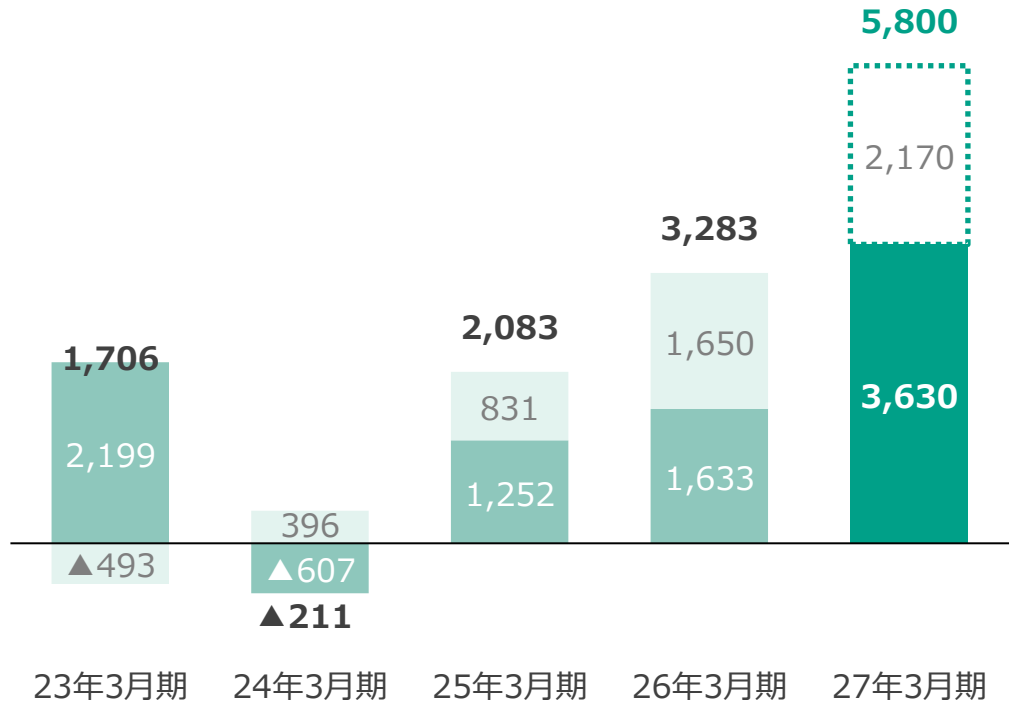
業績概要

売上高



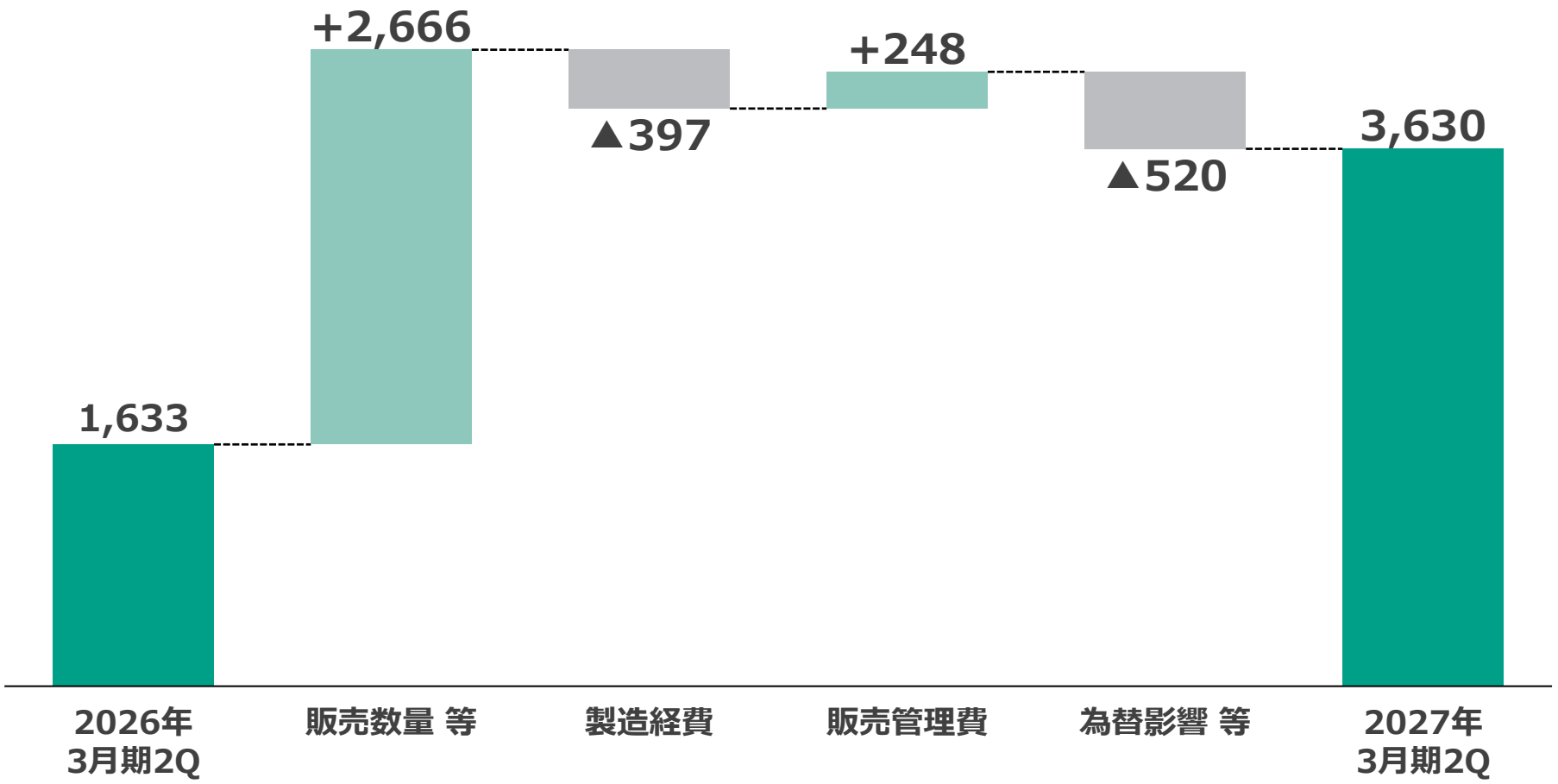
営業利益

単位：百万円



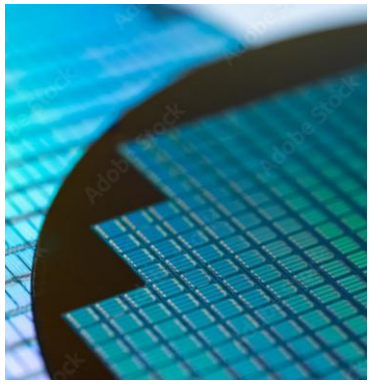
営業利益増減分析

単位：百万円



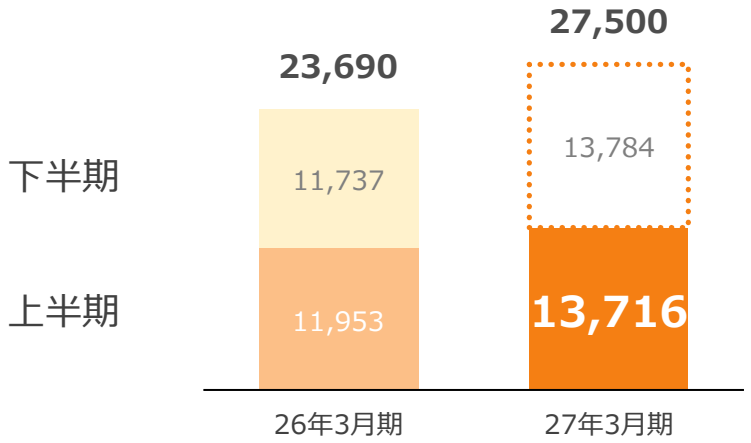
樹脂・化成品事業





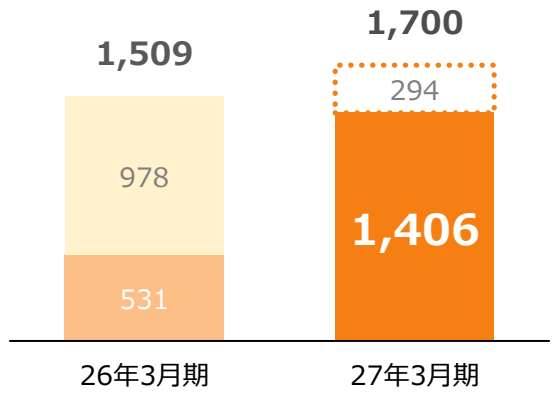


売上高



営業利益

単位：百万円



売上高

販売拡大により増収見込み

- 塗料用樹脂の新規採用と需要増
- 半導体レジスト用樹脂の販売好調
- 合成ゴム用乳化剤の販売減少

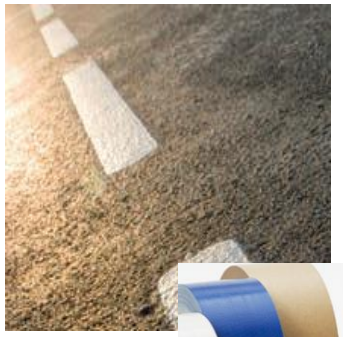
営業利益

売上高の増加と収益改善施策により増益見込み

- 下半期は原材料価格の下落に伴う価格改定、顧客の在庫調整を想定

ローター

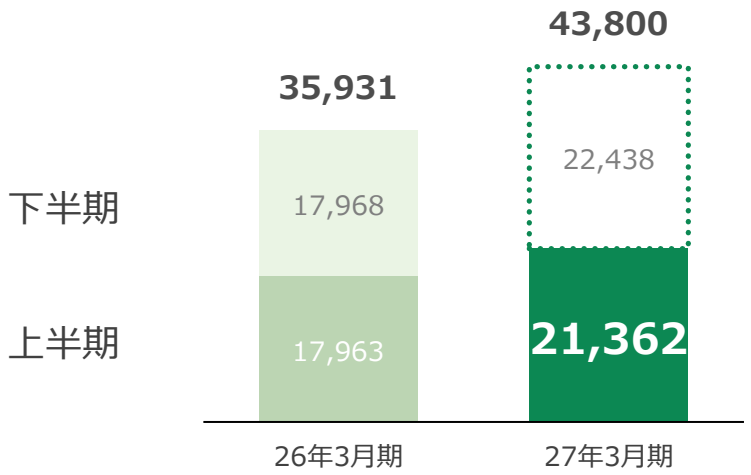
（樹脂・化成品の製造販売を海外で展開している会社ですが、別会社として管理しているため分けて記載）





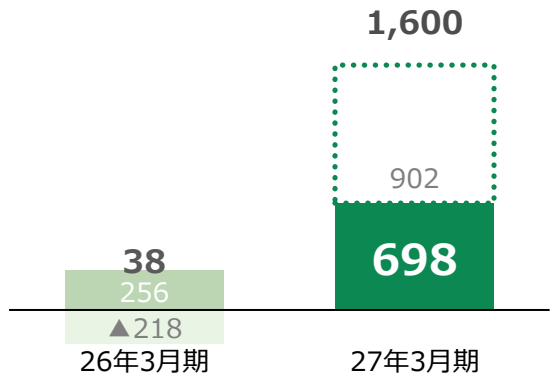


売上高



営業利益

単位：百万円



売上高

販売拡大により増収見込み

- 水系粘着付与剤の販売拡大
- 路面標示塗料用樹脂の販売好調
- ガムロジン・テレピン油の販売好調
- 印刷インキ用樹脂の価格対応の進展

営業利益

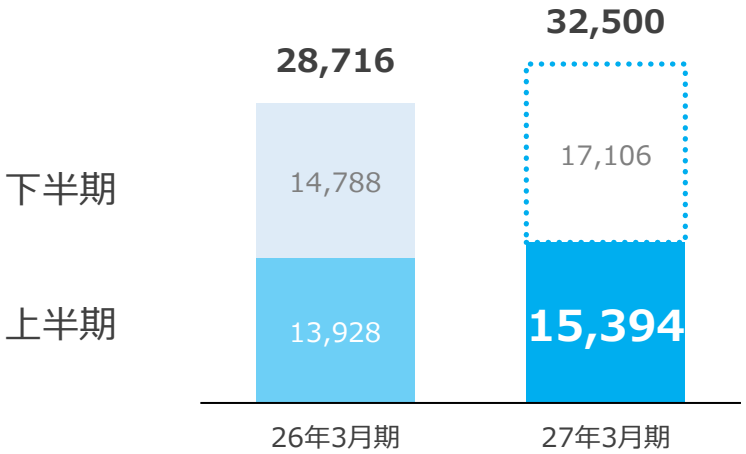
売上高の増加により増益見込み

製紙用薬品事業



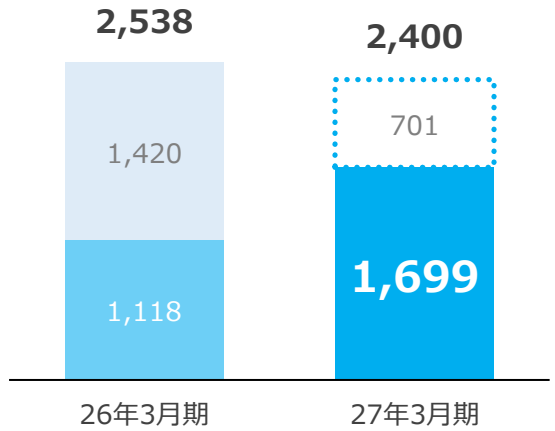


売上高



営業利益

単位：百万円



売上高

販売拡大により増収見込み

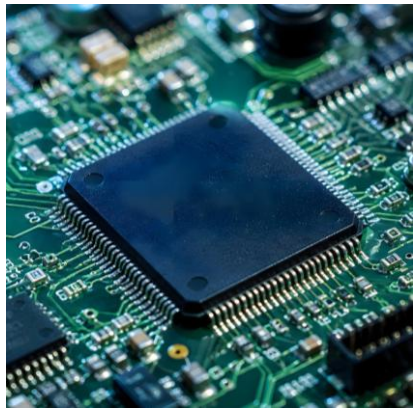
- 中国で販売数量の増加
- 日本、中国で価格対応の進展
- 米国での堅調な販売

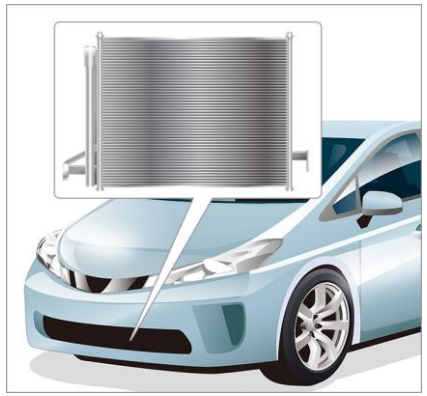
営業利益

売上高の増加と収益改善施策により増益見込み

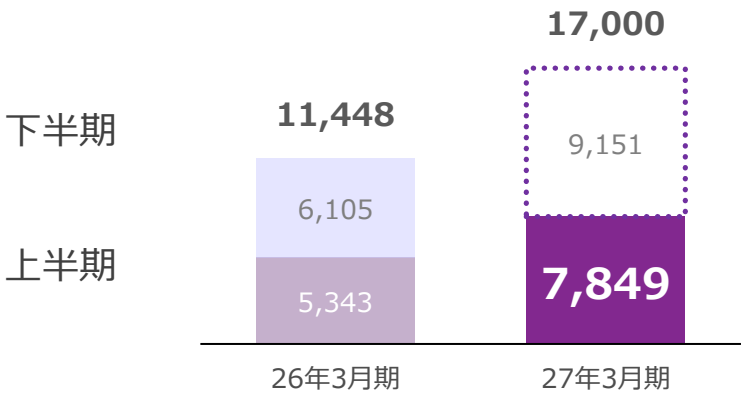
- 下半期は中国での競争激化、原材料価格上昇の影響を想定

電子材料事業



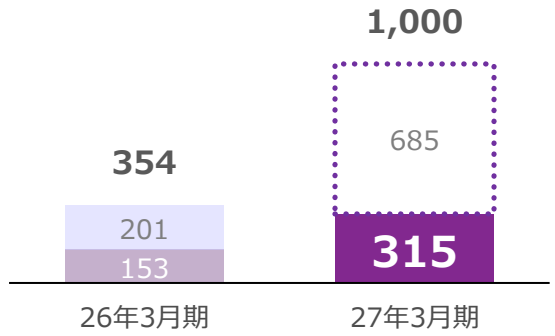


売上高



営業利益

単位：百万円



売上高

販売拡大により増収見込み

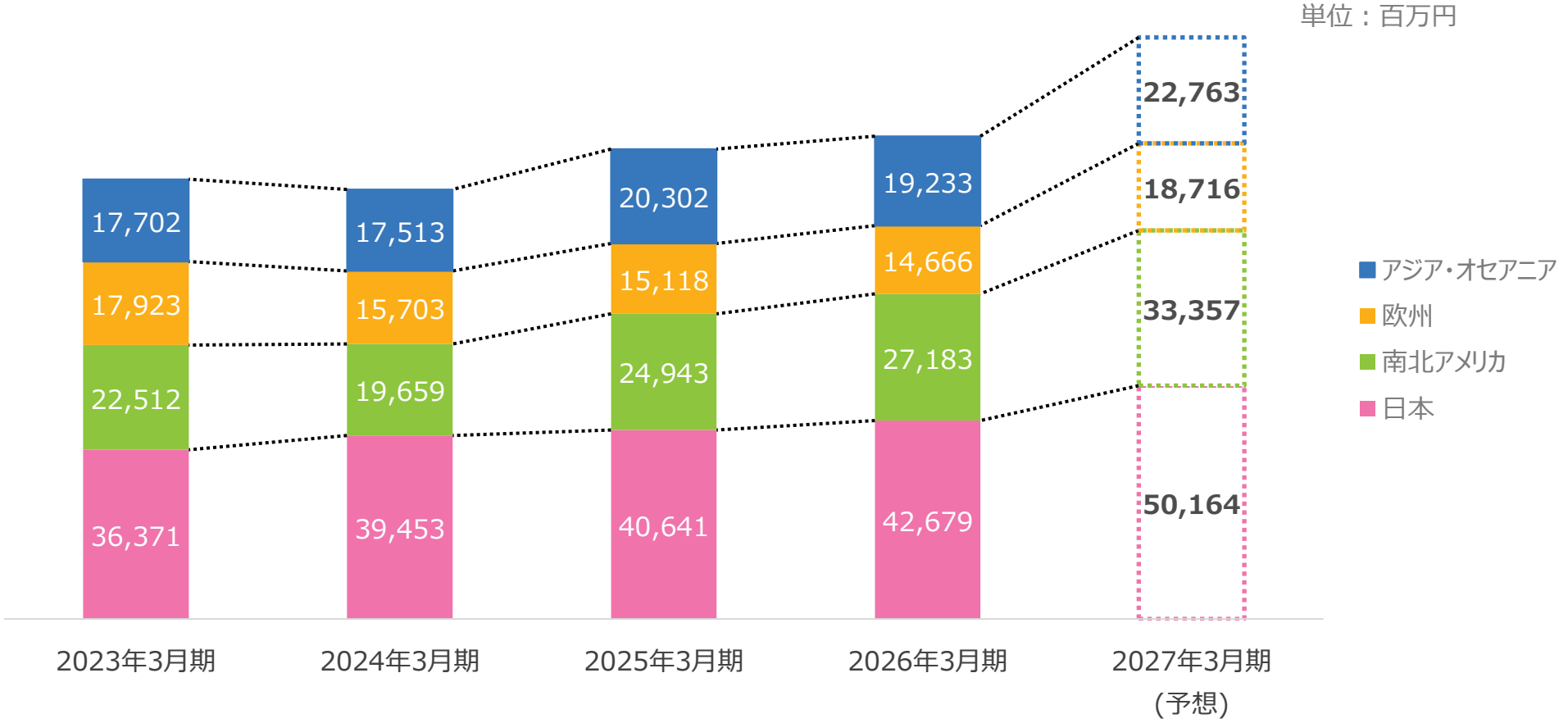
・はんだ付け材料の需要増、価格対応の進展
・ろう付け材料の需要増

営業利益

売上高の増加により増益見込み

地域別売上高比率

単位：百万円



国内売上高比率	38.5%	42.7%	40.2%	41.1%	40.1%
海外売上高比率	61.5%	57.3%	59.8%	58.9%	59.9%

04 業績見通し・株主還元

業績見通し

単位：百万円

	2026年3月期	2027年3月期 通期予想		前回予想比	
	実績	前回予想 (4月30日公表)	今回修正予想 (10月30日公表)	増減額	増減率
売上高	103,763	110,000	125,000	+15,000	+13.6%
営業利益	3,283	3,500	5,800	+2,300	+65.7%
経常利益	2,996	2,800	5,000	+2,200	+78.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,345	2,650	4,400	+1,750	+66.0%
1株当たり当期純利益	円 銭 96.56	円 銭 109.07	円 銭 180.83	–	–

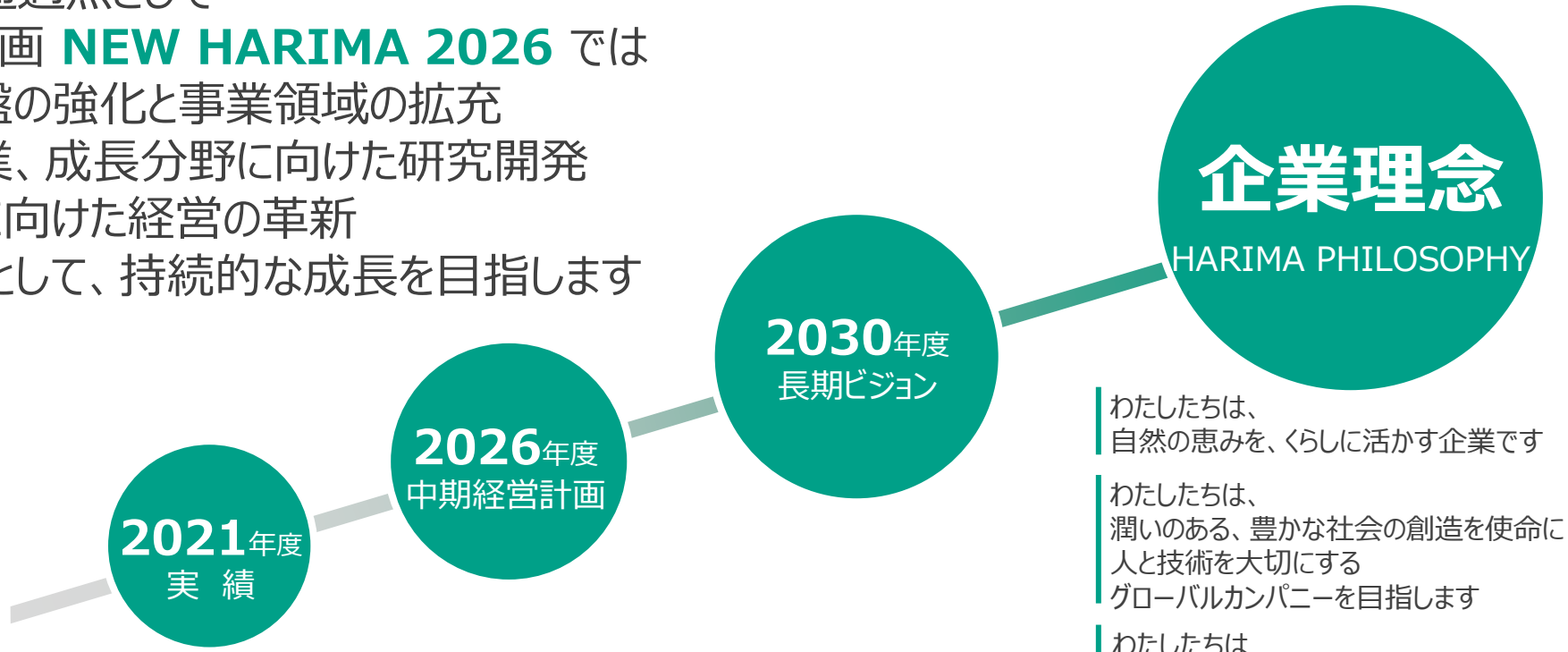
今回修正予想値は、既にプレスリリースしている、関係会社SunPine AB社の株式売却益約37億円と連結子会社LAWTER(N.Z.)Limitedの事業撤退による費用約28億円を加味したものとなっています。

中期経営計画　NEW HARIMA 2026

長期ビジョン **Harima Vision 2030** の 実現に向けた
達成すべき通過点として
中期経営計画 **NEW HARIMA 2026** では

- 事業基盤の強化と事業領域の拡充
- 新規事業、成長分野に向けた研究開発
- 新時代に向けた経営の革新

を基本方針として、持続的な成長を目指します



	2021年度 実績	2026年度 中期経営計画	2030年度 長期ビジョン
売上高	760億円	1,100億円	1,200億円以上
営業利益	32億円	70億円	85億円以上
営業利益率	4.3 %	6.4 %	7.0 %以上
ROE	4.9 %	10.0 %	10.0 %以上

わたしたちは、
自然の恵みを、くらしに活かす企業です

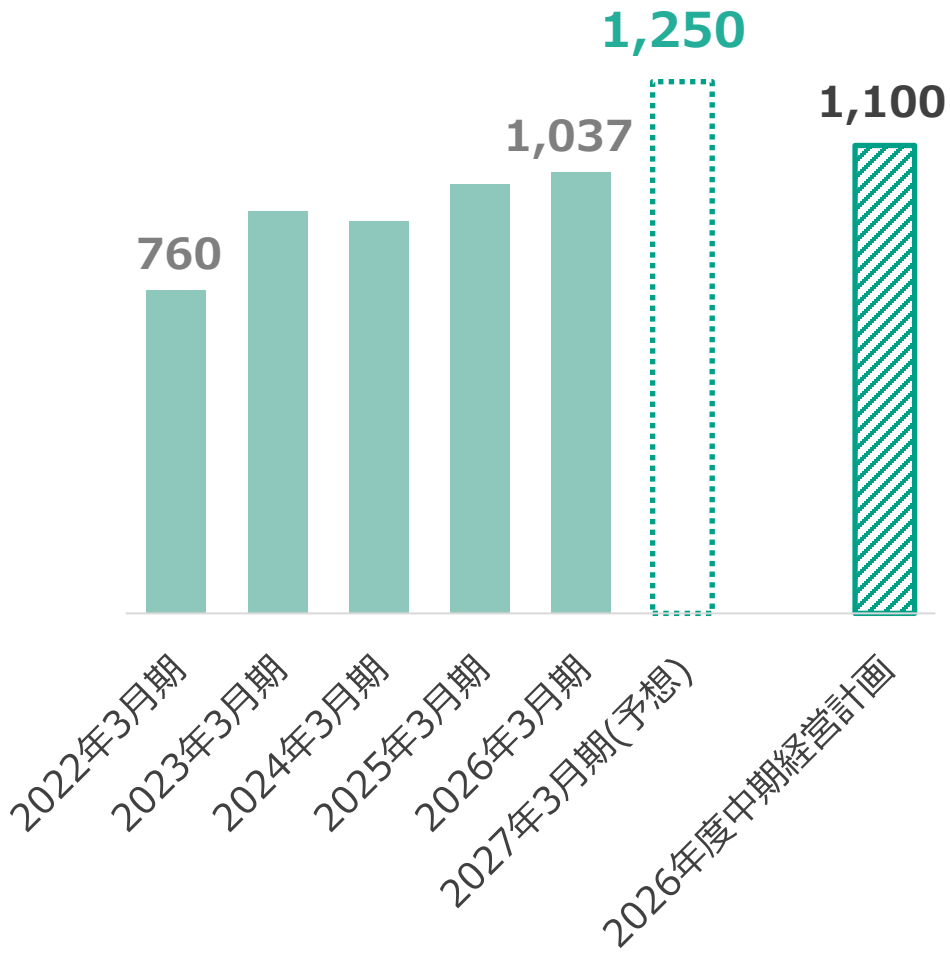
わたしたちは、
潤いのある、豊かな社会の創造を使命に
人と技術を大切にする
グローバルカンパニーを目指します

わたしたちは
理解し、協力し、心から信頼し合うこと
そして
知的で感性豊かなチャレンジャーであることを
行動の基本とします

わたしたちの心は
YES.ナンバー１

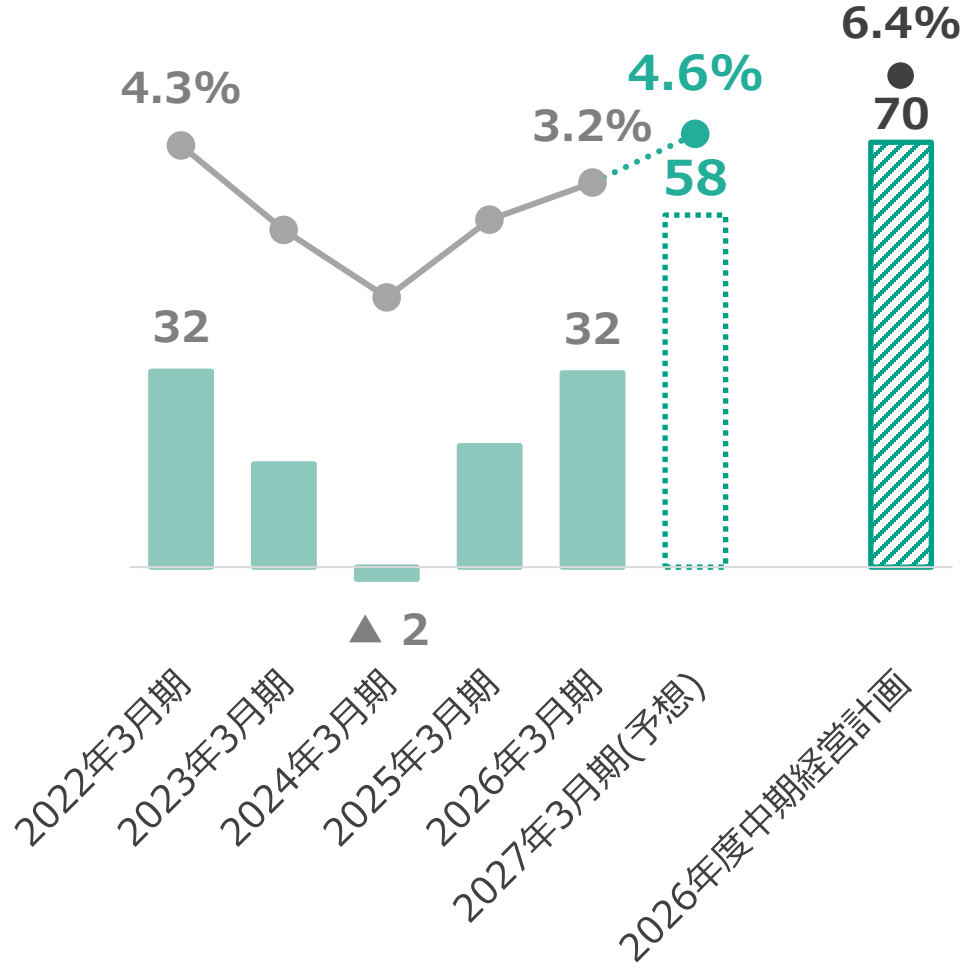
中期経営計画　進捗状況

売上高



営業利益/営業利益率

単位：億円



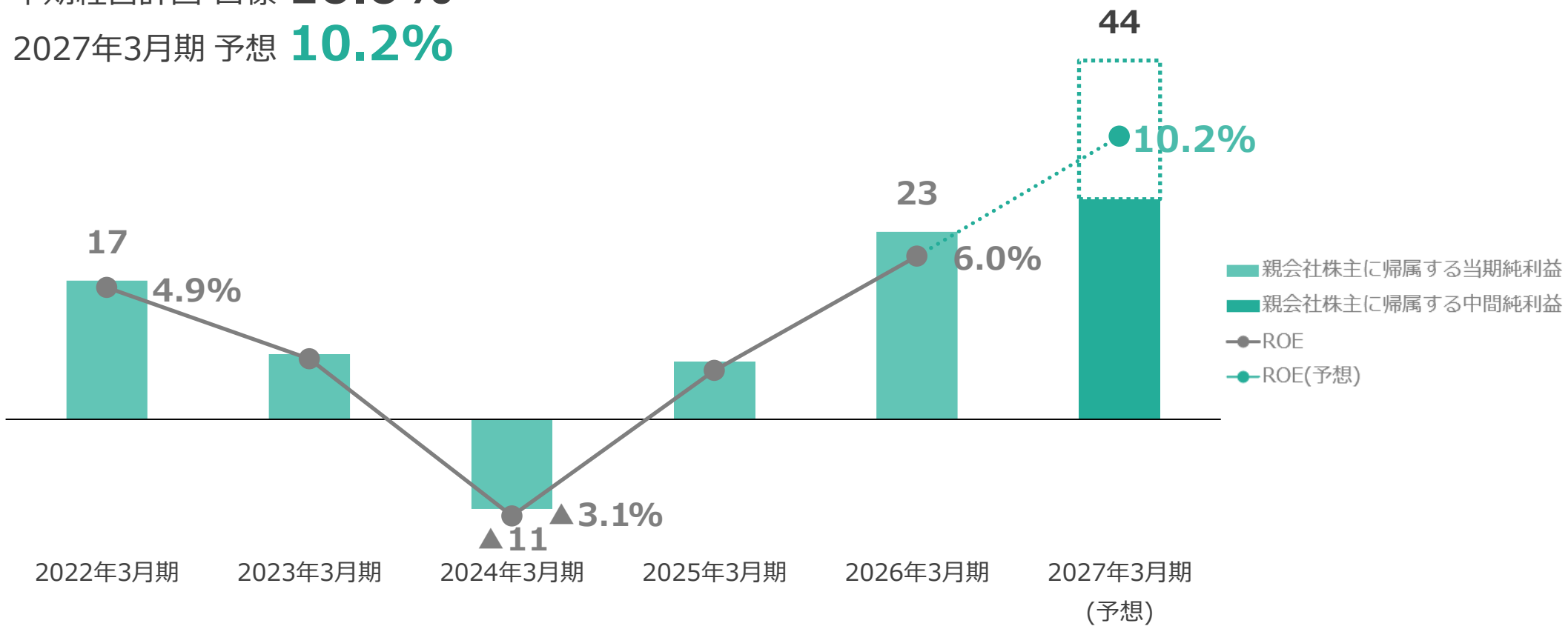
中期経営計画　進捗状況

ROE

中期経営計画 目標 **10.0%**

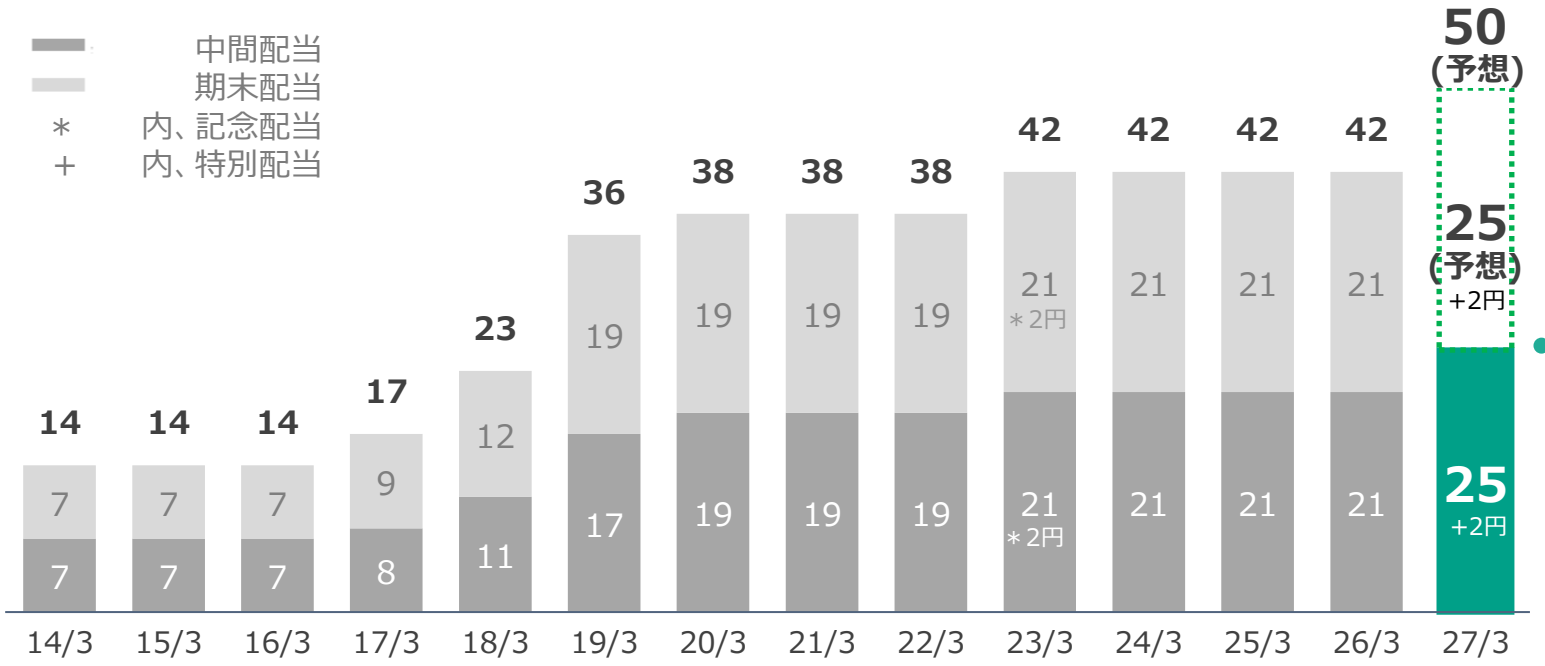
2027年3月期 予想 **10.2%**

単位：億円



株主還元

安定した配当を継続して実施するとともに、将来の企業価値向上による株主利益の増大を目指した積極的な事業展開に備え、内部留保の充実に努め経営基盤の強化を図りながら、業績動向、配当性向を勘案して実施



期初予想
年間 42円
中間 普通配当 21円
期末 普通配当 21円

年間配当 +8円増額

今回予想
年間 50円
中間 普通配当 23円 ＋ 特別配当 2円
期末 普通配当 23円 ＋ 特別配当 2円

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3
配当性向(%)	129.6	-	29.7	18.2	21.9	22.6	43.3	87.5	54.7	117.5	-	133.5	43.5	27.7

05 トピックス・新製品紹介

半導体レジスト用樹脂　新工場・新研究棟を建設中


新研究棟（左）と新工場（右）

2027年6月加古川製造所構内に竣工
高度な品質管理設備
生産能力約**2**倍
さらに拡張も可能な設計

既存顧客の需要増に対応
計画を上回る水準で推移

他の半導体材料分野への展開

2035年度に売上高**100**億円

バイオものづくりによる次世代化粧品素材を上市・開発



高機能リコピン

スマートカロテノイド™ 高機能リコピン
抗酸化作用、**紫外線吸収**などの
多機能素材
2030年度に売上高**20**億円



フィトエン



ζ-カロテン

フィトエン、ζ（ゼータ）-カロテン
シワなど**肌老化**要因の
抑制機能を確認
2027年度中の実用化

新製品「ハリロード」が大型商業施設の駐車場舗装に採用



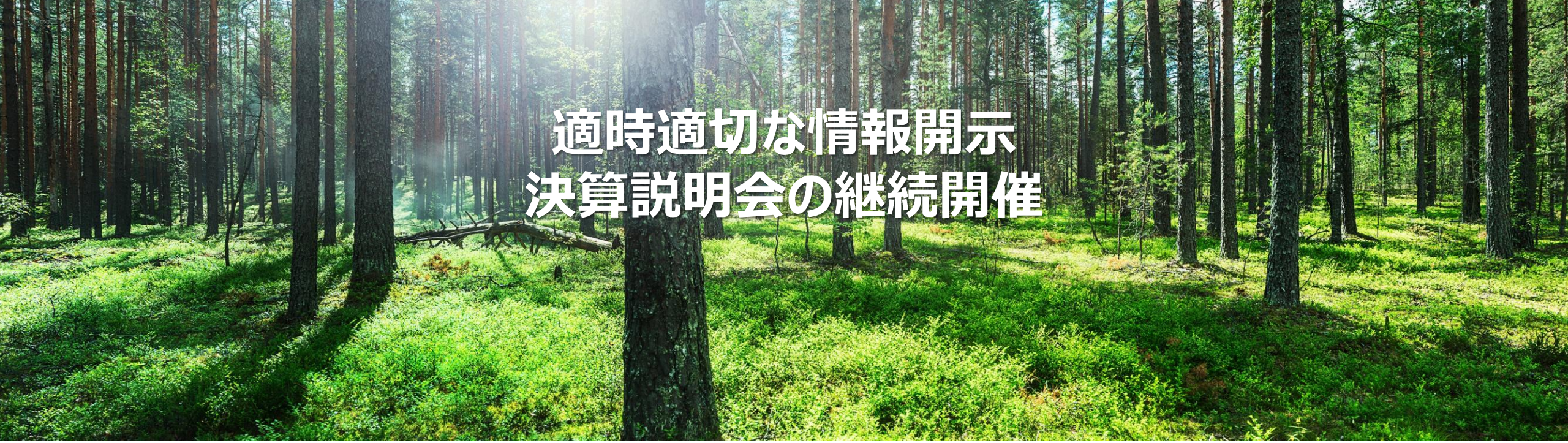

ハリロード


耐久実証を継続（東京工場）

バイオマス系アスファルト再生用添加剤
植物由来原料**98%**以上
石油系添加剤と**同等以上**の再生性能

株式会社イズミ様
サステナブル活動の一環で採用

2035年度に売上高**10**億円



適時適切な情報開示
決算説明会の継続開催

ハリマ化成グループ株式会社

〈お問い合わせ〉
<TEL> 06-6201-2477 <E-mail> pr@harima.co.jp
<URL> https://www.harima.co.jp/contact/pr/

＜将来情報に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。